

第3学年国語科学習指導案

1 単元・題材 状況を読む「故郷」（光村図書3年）

2 目標

- 外国文学特有の表現に慣れ、状況や時代背景を理解し、社会と人間のかかわりについて自分の考えをもとうとしている。（国語への関心・意欲・態度）
- ◎ 登場人物の言動についての描写や表現に着目しながら想像をふくらませ、さまざまな立場から読み進めることができる。（読む能力）
- 「ことば」を蓄えていく活動を通して、語感を磨き、学習用語や豊かな語彙を身に付けることができる。（言語についての知識・理解・技能）

3 指導観

- 本単元は、中学校学習指導要領国語第3学年「C 読むこと」の指導事項「ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。」「イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。」「ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。」「エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。」を受けて設定されている。また、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕（1）イ(イ)・ウ(ア)も受けている。

本題材は、1年生「少年の日の思い出」、2年生「走れメロス」と系列的に配置されている本格的な近代小説の学習を通して、「自分の考えの形成」をめざしていくための中学校最後の小説教材である。20年ぶりの帰郷で見た風景や人々との再会によって、希望から失望、失望から絶望、そして絶望から新たな希望へと、「私」の心情が大きく変化していく。20世紀前半、清朝末期の中国が舞台であることから、当時の中国が列強諸国からどのような扱いを受けていたのか、作品の根底に流れている歴史的背景を認識させ、状況を推測させながら読み進めさせなければならない。さらに、中国近代文学の父とよばれる魯迅が、「故郷」に込めた思いを考えさせながらも、状況を背負って生きていく人間の姿を捉えさせていくことが重要である。人間と社会の関わりについて考え、自分なりの意見をもつことをめざすという点から、中学校での小説教材のまとめとして非常に意義深い題材だと思われる。

- 本校では、生徒が利用しやすい学校図書館を目指し、蔵書の充実や配架の工夫に努めている。その結果、昼休みの図書館は生徒であふれており、これまで本を読む習慣のなかった生徒も本を手にする姿が見られるようになった。「小説に関するアンケート」によると、「小説を読むことが好き」と答える生徒が、4月は61%であったが7月は72%に増えていた。ただし、「授業で小説について勉強することは好きですか」という質問に対しては、「好き」「まあまあ好き」と答える生徒が、50%にとどまっている。そこで、小説の授業における「好きな学習活動」と「嫌いな学習活動」について聞いてみると、「登場人物の心情を想像したり読み取ったりする学習活動」や「グループで話し合う学習活動」を好む回答が多く見られたのに対し、このような学習活動を好まない回答も、ほぼ同数見られた。好きな理由としては、新たな発見や登場人物の思いに共感することが楽しいという意見が挙げられた。また、嫌いな理由としては、読み取ったり書いたりするのが苦手、意見がまとまらない、自信がないという回答が見られた。このことから、「読むこと」の学習においては、読み取るために必要な語彙を補い、読み取ったことを表現するために有効な学習用語を身に付け、活用させることが大切だと考えられる。

また、生徒は、小学生の時に「人物の生き方について考える」学習を、第1学年で「場面展開や登場人物の描写に着目する」「人物の行動や情景描写から心情を読み取る」学習を、第2学年では「登場人物の言動に着目する」「書かれていない部分を想像して読む」という学習を行っている。よって、会話や情景描写をもとに、語り手が進める展開に従って読んだり、主人公の立場に立って読んだりすることができる。しかし、観点を変えて読んだり、立場を変えて読んだりする経験は少ない。さらに、普段の読書生活で親しんでいる小説の舞台は、生徒の実生活に近いもの、もしくは、架空の世界という設定が多い。そのため、小説の舞台となる時代背景や史実などを予備知識として、読みを進めていく経験も少ない。つまり、読書に親しむ経験や時間は多いものの、小説に現れる言葉の背景を想像したり、立ち止まって考えたりすることなく、「恣意的に楽しみながら読む」ことにとどまっていると言えよう。

- そこで指導にあたっては、まず、単元の初めに学習計画と単元を貫く学習目標を示し、学習の見通しをもたせる。さらに、蓄えさせたい学習用語などを常時提示することで、課題解決におけるヒントの役割をもたせ、「ことば」に対する関心を高めさせる。

1時間目は、作品の舞台となる当時の中国の情勢を理解させる。列強諸国に虐げられていたことや、革命など国内の社会的不安に覆われた時代背景を理解させることによって、作品の状況を推測して読み進める力を養っていく。さらに、全文を通読し、作品と主な登場人物についての大きな感想をもたせながら、読みを深めるための言葉を押さえていく。

2時間目は、「帰郷」や「回想」など大まかに場面を分けていく。また、蓄えたい学習用語や語彙について確認する。さらに、登場人物の印象や関係を整理させ、初発の感想をまとめさせる。

3時間目は、情景描写をもとに小説を読む。二十年ぶりの故郷の情景描写から「私」の心情を読み取っていく。また、脳裏に浮かぶ不思議な画面に登場するルントウの描写から、「私」にとっての「美しい故郷」を考えさせる。さらに、「回想」の場面における幼い頃の「私」と「ルントウ」の関係を整理することで、明るい思い出の故郷を想像させる。

4・5時間目は、語り手の立場から小説を読む。ヤンおばさんやルントウとの再会から見えたものを考え、まとめさせる。「小英雄」が「でくのぼう」に、「シュン（迅）ちゃん」が「旦那様」という言葉に変わってしまったという事実が、故郷に対する絶望感として、「私」の中に広がっている様子をつかませる。さらに、故郷で暮らす人々に対する「私たち」の思いについて考えさせ、「名残惜しい気はしない」という言葉へのつながりを捉えさせる。

6時間目は、立場を変えて小説を読む。語り手である「私」ではなく、「故郷で暮らす人々」の立場から読み直してみることで、新たに見えてくるものがあることに気付かせる。そのために、グループ学習を設定する。他者の意見に耳を傾け、自分の「読み」との比較を行う場を設定する。そうすることで、人それぞれの観点や考え方から読み取ることができるものは多様であるということを感じさせたい。さらに、それぞれの「読み」を交流させる学び合いを通して、小説の世界を広げさせ、想像して読む楽しさや驚きを感じさせる。

7時間目は、「故郷」を読み、考えたことや感じたことを自分の言葉で表現させる。さらに、互いの意見を交流させることで、小説を「読むこと」から「考えること」へと深化させる。

登場人物の心情を考えることが苦手な生徒には、まず、登場人物の心情理解につながる会話や情景描写にラインを引かせ、着目する箇所を可視化させる。さらに、蓄えたい語彙として示す言葉は、心情理解にもつながるものが多いことを伝える。また、グループ学習を活用し、他者の考えに耳を傾ける場を設定する。

本題材では、「ことば」に焦点をあて、個人の考えを、ペア学習やグループ学習を通して練り上げていく。「故郷」に描かれている人物や時代について十分に読み取らせたい。さらに、複数の立場から得られた考えについて自分なりにまとめ、小説についての新たな「読み」をもつことができるようにしていきたい。そして、小説を読む楽しさだけでなく、小説を通して「考える」楽しさを味わわせ、生活の中に「読書の楽しみ」が広がっていくような授業を構築していきたい。

4 指導計画と評価計画 (全7時間)

時間	学習内容及び学習活動	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・能力
1・2	<p>学習内容及び学習活動</p> <p>「蓄えたい学習用語・語彙」を生かした学習活動の場面</p> <p>○単元全体の学習の見通しをもつ。 ○当時の中国の時代背景や社会的情勢などを理解する。 ○感じたことや考えたことを自分の言葉にまとめる。</p> <p>・ 内容把握のために、文脈から語彙を推測した後、確認する。 ・ あらすじをつかむために、学習用語を確認しながら読み進める。</p>	<p>○描かれた社会的情勢と人物について、自分なりの考えをもとうとしている。〈観察〉</p>	<p>○社会と人との関わりを考え、自分の言葉でまとめることができる。〈ワークシート〉</p>	<p>○時代背景や内容をつかむために、必要な語句の意味を理解することができる。〈観察〉</p>
3	<p>○二十年ぶりに帰ってきた故郷の様子をまとめる。 ○「私」の回想の中のルントウに対するイメージをまとめる。</p> <p>・ 語り手である「私」の立場から見た故郷の情景描写を通して、「私」の心情を考える。</p>	<p>○現実と思い出の場面の情景描写を比較しながら、自分の考えをまとめるようとしている。〈観察〉</p>	<p>○情景描写に着目して、「私」の心の中にある明るい故郷の思い出をつかむことができる。〈ワークシート〉</p>	<p>○考えの根拠となる言葉を選び出すことができる。〈ワークシート〉</p>
4・5	<p>○ルントウとの再会をまとめる。 ○ヤンおばさん（故郷の人々）との再会をまとめる。 ○故郷の決別を決意させる出来事について整理する。</p> <p>・ 二人との再会を通して、「私」の故郷に対する感情を考える。</p>	<p>○言動の描写に着目し、「私」の心情を推し量ろうとしている。〈観察〉</p>	<p>○思い出と現実を比較することで、「私」の失望感をつかむことができる。〈ワークシート〉</p>	
6 (本時)	<p>○故郷に暮らす人々の立場から「私」を見る。 ○他者との意見の交流を通して、多様な読みに触れる。</p> <p>・ 故郷に暮らす人々の立場から見た「私」について意見を交換する。</p>	<p>○自分の意見を持ち、積極的な対話を心がけようとしている。〈観察〉</p>	<p>○立場を意識的に変えて読み直してみることで、登場人物の心情理解に新たな意見や気づきをもつことができる。〈ノート〉</p>	<p>○手がかりとなる言葉に着目し、前後の文脈から、その意味を考えることができる。〈ワークシート〉</p>
7	<p>○それぞれの立場から考えた「故郷」について、お互いの考えを交流する。</p>	<p>○自分の考えをまとめたり、他者の意見に耳を傾けたりしている。〈観察〉</p>	<p>○得られた情報をもとに、作者のメッセージを考えることができる。〈ワークシート〉</p>	<p>○意見の根拠となる言葉を示すことができる。〈ワークシート〉</p>

5 本時の目標

- 立場を意識的に変えて読み直してみることで、登場人物の心情理解に新たな意見や気付きをもつことができる。(読む能力)

6 蓄えたい学習用語・蓄えたい語彙

蓄えたい学習用語	蓄えたい語彙
人物像 語り手 心情描写 情景描写 主題	寂寥 神秘の宝庫 蔑む 嘲る うやうやしい でくのぼう とりとめのない 名残惜しい 気がめいる 小英雄 打ちひしぐ 野放図

7 学習指導過程

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評価の視点
導入	<p>1 これまでの学習内容を確認する。</p> <p>2 本時の目標を確認する。 立場を変えて「故郷」を読み、新たな人物像をとらえよう。</p>	<p>○既習事項とのつながりを意識できるような問いかけを行い、一問一答の形で声を出させ、学習の雰囲気高める場を設定する。</p> <p>○本時の目標を意識して活動できるように、全員で声に出して読む場を設ける。</p>	
展開	<p>3 語り手である「私」の立場から見た現在のルントウを確認する。 ○でくのぼう</p> <p>4 ルントウが「私」に会いに来た理由を考える。 ○母の言葉 ○ルントウとの再会</p> <p>5 四人グループを作り、ルントウの立場から課題に取り組む。 ① 「青豆の干したのを少し」を持ってきたのはどのような思いからか。 ② 三十年ぶりに会えた「私」はどのように映ったのか。 ③ 黙々とたばこをふかしていた理由は何か。</p>	<p>○立場を意識させるために、「私」の立場から見たルントウについて、象徴的な言葉を確認する場を設定する。</p> <p>○立場の転換を意識させるために、既習事項を確認するように指示する。</p> <p>○グループ学習の活性化につなげられるように、発言を学級全体に広げる支援を行う。</p> <p>○ルントウの行動描写からうかがえる思いを考えさせるために、自由に意見交換を行う場を設定する。</p> <p>○ルントウの気持ちに変化していくことを考えられるように、順序立てて課題を示していく。</p> <p>○考えの根拠となる箇所を具体的に示しながら意見をまとめるように指示する。</p> <p>○意見を考えることが難しい生徒には、友達の意見に耳を傾けるように指示する。</p>	I

展開	6 故郷の人たちから「私」はどのように見えるのか考える。	○自由に意見を交換しながら、自分の考えをまとめる場を設定する。	I
まとめ	7 次時の予告を聞く。 ○ 「鲁迅」の立場に立ち、「故郷」の主題について考える。	○次時の見通しをもたせるために、事前に学習内容を示しておく。	

8 評価の視点と評価項目

評価の視点	評価項目〈☆評価方法〉
I 立場を意識的に変えて読み直してみると、登場人物の心情理解に新たな意見や気づきをもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 「立場の転換」によって、登場人物の心情について新しい考えが浮かんでいる。 〈☆ワークシート・観察〉

9 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">蓄えたい学習用語</div> <p>人物像 語り手 心情描写 情景描写 主題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">蓄えたい語彙</div> <p>寂寥 神秘の宝庫 蔑む 嘲る うやうやしい でくのぼう とりとめのない 名残惜しい 気がめいる 小英雄 打ちひしぐ 野放図</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>故郷に暮らす人々から見た「私」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちだけ裕福な暮らしをしている わたしたちのことを見下している </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>③ 黙々とたばこをふかしていた</p> <ul style="list-style-type: none"> 迅ちゃんには僕の苦しみはわからないだろう 自分(ルントウ)を哀れたと同情している人 今でも坊ちゃん・身分の違う人 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>② 大人になった「私」はどのように映ったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> 変わっちゃった 偉そうな感じがする(見下している) 昔も贈り物をした 喜んでくれるといいな </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>① 「青豆の干したのを少し」持ってきた</p> <ul style="list-style-type: none"> 思い出話をしたい 迅ちゃんの今の話を聞きたい 自分の話も聞いてほしい 懐かしい </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「私」に会いに来た理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 思い出話をした 迅ちゃんの今の話を聞きたい 自分の話も聞いてほしい 懐かしい </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>登場人物 私 ルントウ ヤンおばさん</p> <p>立場 ルントウ でくのぼう</p> <p>いつも家へ来るたびに、おまえのうわさをしては、しきりに会いたがっていましたよ。</p> </div>	<p style="text-align: center;">目標</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>意見の交流を通して、「故郷」の主題を考えよう。</p> </div> <p style="text-align: center;">故郷</p> <p style="text-align: center;">鲁迅 竹内好訳</p>
--	---	--